

あきた 市議会だより

No.151

平成25年
8月2日



市民の生命・身体・財産を守るために日夜訓練に励んでいる秋田市消防団
(秋田市消防訓練場で開催された「秋田市消防団消防操法大会」)

5月臨時会・6月定例会の概要……………P 2～3

新しい議長、副議長を選出

議案等に対する会派別の表決状況 ……P 3～4

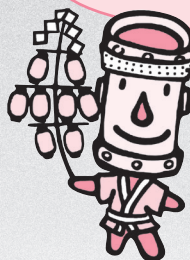
一般質問 ………………P 5～9

委員会の新しい委員の紹介 ………………P 9

政務調査費科目別収支状況 ………………P 10

9月定例会のお知らせ(予定)ほか ………………P 10

熱中症に 気をつけて



上下水道局マスコット
キャラクターカンちゃん



ホームページで
過去の市議会だより
もご覧になれます

発行／秋田市議会 編集／あきた市議会だより編集委員会
ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/council/>

5月臨時会

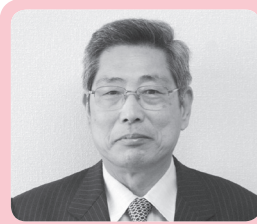
5月8日

6月定例会の概要

6月4日～6月25日

新しい議長、副議長が決まりました

議長に 鎌田 修悦氏
副議長に 相場 金二氏
を選出



鎌田 修悦 議長

平成15年から連続3期
当選。これまで総務委
員会委員長、議会運
営委員会委員長等歴任
現在67歳



相場 金二 副議長

平成7年から連続5期
当選。これまで決算特
別委員会委員長、建設
委員会委員長等歴任
現在81歳

議長に選任され大変光栄で名誉で
あると同時に、その責任が両肩に重
くのし掛かり、気を引き締めなけれ
ばと思っております。

本市を取り巻く環境は、人口減少
や少子高齢化の進行、中央との経済
格差もあり、さまざまな面で負のス
パイラルから抜け出せずにいます
が、常に前向きに、希望を持って進
んでいきたいと考えております。

本市では、今年度はデスティネー
ションキャンペーン、来年度は国民
文化祭の開催が予定されています。
みんなで盛り上げ、秋田市民の親し
み深い暖かさを全国に広めようでは
ありませんか。

議会と執行機関が協力し、市民参
加のもとで明るい市政にするため、
全力を尽くして議会運営に当たりま
すので、ご支援くださるようお願い
を申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

このたび、議員各位によるご推挙
をいただき副議長に就任することに
なりました。身に余る光栄である
とともに、責任の重さを痛感してい
るところであります。

今日、国、地方を問わず抱える行
政課題は多岐にわたりますが、本市
においても、少子高齢化、雇用の創
出等々、喫緊の課題は多くあります。
私も議員は、それぞれの地域にお
ける生活の現場で、日々市民の声を
身近に受け止めていることから、そ
の負託に応えるべく取り組みなけれ
ばなりません。議会機能の活性化に
向け一層の努力を続けるべきとの意
を強くしているところであります。

これまでのいささかなる経験から
「誠心一路」をモットーに議長の補
佐役として、その職務を遂行するも
のでありますので、一層のご鞭撻を
いただきますようお願い申し上げます。
ご挨拶とさせていただきます。

主な議案

5月臨時会

5月8日に開催した5月
臨時会では、特別職の職員
の給与に関する条例の一部
を改正する件などの条例案
2件を可決したほか、公立
大学法人秋田公立美術大学
の中期目標を定める件など
の単行案5件を可決・承認
しました。また、秋田市教
育委員会委員の任命につい
て同意を求める件などの人
事案6件に同意しました。

6月定例会

6月定例会では、正副議
長の選挙、常任委員、議会
運営委員の選任を行ったほ
か、秋田市公立大学法人支
援基金条例を設定する件な
どの条例案9件、単行案7
件、補正予算案4件を可決
しました。また、秋田市監
査委員の選任について同意
を求める件などの人事案2
件に同意しました。

人事

教育委員会委員

前川 重明氏(再任)
越後 俊彦氏(新任)

公平委員会委員

檜 森利光氏(新任)
山本 尚子氏(新任)

監査委員

高井 宏司氏(再任)
三浦 清氏(再任)

予算

高齢者コインバス事業 拡充準備経費

平成25年10月1日から、
高齢者コインバス事業の対
象年齢(現行満70歳以上)
を満68歳に引き下げて実施
するため、資格証明書の事
前交付等を行います。
390万円

八橋運動公園第2球技場 人工芝整備事業

八橋運動公園第2球技場
を、現在のクレーから人工
芝に改修します。
1億4千850万円

溶融施設大規模改修事業

経年劣化により主要機器の更新等が必要となつてゐる総合環境センター溶融施設の大規模改修を実施します。

事業期間 平成25～27年度
総事業費 21億6千700万円
5億3千万円



総合環境センター

県市連携文化施設整備検討経費

老朽化が進む県民会館と文化会館を将来的に県市連携で再編整備することについて、検討委員会やアンケート調査など、県と共に構想素案策定に向けた検討を行います。

362万7千円

6次産業化支援施設整備基本計画策定経費

旧農業試験場跡地に整備する園芸振興拠点施設内の加工施設について、6次産業化普及・促進のため、その機能拡充に向けた基本計画を策定します。

250万円

大森山公園整備事業

大森山自然動物公園整備構想に基づき、動物園入退園口をリニューアルし、(仮称)大屋根ビクターセンターを建設します。

整備内容 エントランスホール、イベント広場、休憩コーナー等
2億1千674万円

風しん予防接種費助成事業

妊婦に対する風しんの感染を抑制するための緊急対応として、対象となる市民に風しん予防接種費用の一部又は全額を助成します。

対象者 妊娠を予定又は希望する女性(19歳から49歳までの方)・妊婦の方
助成額 接種費用のうち、5千円を上限として助成

2千464万6千円

条例

秋田市公立大学法人支援基金条例を設定

公立大学法人秋田公立美術大学の健全な運営等を支援することを目的とする公立大学法人支援基金を設置するため、条例を設定しました。

施行期日 25年7月1日から

人事

農業委員会委員の推薦

齊藤 善悦氏

小野寺 誠氏

堀井 明美氏

監査委員

鳥井 修氏(新任)

人権擁護委員

長谷部 正直氏(新任)



議案に対する会派別の表決状況

5月臨時会の結果

() 内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名		秋水会(13)	市民ク(5)	希望(5)	公明党(4)	共産党(4)	フオ21(3)	社・市(2)	護・わ(1)	市民み(1)	議決結果
市長提出	◆ 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する件 ◆ 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	◆ 秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件 ◆ 秋田市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件 ◆ 秋田市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成および活性化に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	◆ 公立大学法人秋田公立美術大学が徴収する料金の上限に関する認可の専決処分について承認を求める件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	
	◆ 公立大学法人秋田公立美術大学の中期目標を定める件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	可決
	◆ 秋田市教育委員会委員の任命について同意を求める件 (2件) ◆ 秋田市公平委員会委員の選任について同意を求める件 (2件) ◆ 秋田市監査委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	◆ 秋田市監査委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※共産党の所属議員は4人ですが、臨時会で1人欠席がありました。

議案、請願・陳情に対する会派別の表決状況

6月定例会の結果

() 内の数字は所属議員数。ただし、秋水会は議長を除く。

件名	秋水会 (12)	市民ク (5)	希望 (5)	公明党 (4)	共産党 (4)	フォ 21 (3)	社・市 (2)	護・わ (1)	市民み (1)	温修 (1)	議決 結果
◆ 秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
◆ 秋田市職員給与条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市短期大学運営等基金条例を廃止する件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
◆ 秋田市公立大学法人支援基金条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市市税条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会条例を設定する件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	
◆ 秋田市子ども福祉医療基金条例を設定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市商工業振興条例の一部を改正する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 市道路線を廃止する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 市道路線を認定する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 化学消防ポンプ自動車を買入れる件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 消防ポンプ自動車を買入れる件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市公設地方卸売市場会計への繰入額を変更する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市大森山動物園会計への繰入額を変更する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約の一部変更に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 平成25年度秋田市一般会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	同意
◆ 平成25年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 平成25年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第1号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
◆ 平成25年度秋田市一般会計補正予算（第2号）の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 秋田市監査委員の選任について同意を求める件	○	○	○ ⁴ _{除1}	○	○	○	○	○	○	○	同意
◆ 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○ ² _{x1}	○	○	○	○	
◆ 少人数学級の推進、教職員定数の改善等に関する意見書提出の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
◆ 核兵器全面禁止の決断と行動に関する意見書提出の件	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 年金2.5%削減の中止に関する意見書提出の件	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	否決
◆ 少人数学級の推進、教職員定数の改善等に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
◆ ドクターヘリの安全運航と県民の安全・安心を守るため米軍機（F-16とMV22オスプレイ）の低空飛行訓練中止に関する意見書の提出について	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	不採択
◆ 秋田市役所新市庁舎の再考について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
◆ 市民サービスの充実と雇用情勢の向上について	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	
◆ 核兵器全面禁止の決断と行動に関する意見書の提出について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
◆ 家庭ごみ有料化の廃止について	×	×	×	×	○	○	○ ¹ _{x1}	○	×	×	不採択
◆ 精神障害者保健福祉手帳取得者についての理解を広めるとともに、就労支援の場をふやし、精神障がい者の社会復帰が進むような環境づくりについて	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	
◆ 年金2.5%削減の中止に関する意見書の提出について	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	

※会派内で賛否が分かれた場合、賛成(○)と反対(×)の人数を数字で掲載しています。

※「除1」の記載は、除斥により採決に加わらなかった議員が1人いたことを示しています。除斥とは、議会の審議を公正なものとするため、議題となった案件と一定の利害関係にある議員を議場から退席させることです。

★略記している会派の名称～「市民ク」は市民クラブ、「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「フォ21」はフォーラム21、「社・市」は社会・市民連合、「護・わ」は護憲・わんぱくの会、「市民み」は市民のみかた



秋田市議会の意見として、国会および関係行政庁に意見書を提出しました。

○少人数学級の推進、教職員定数の改善等に関する意見書

○核兵器全面禁止の決断と行動に関する意見書

各議員の表決状況は市議会ホームページで公開しています。

秋田市議会HP

議会の日程と
議案の結果

5月市議会臨時会
6月市議会定例会

議員の表決状況

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会
渡辺正宏

◇市長の政治姿勢◇行政経営◇組織・人事◇まちづくり◇教育に関する危機管理◇新庁舎建設

教育に関する危機管理

問 教育現場における危機管理について、組織的に対応する体制を教育委員会内に構築するべきではありませんか。

答 現在、学校で発生するさまざまな事案については、教育長が先頭となり、各課が連携しながら、的確な対応に努めています。しかし、危機管理に対する重要性はさらに増している状況にあることから、より迅速で的確な対応ができる組織の在り方について研究を進めていきます。

行政経営

問 新規財源の開拓に当たっては、常に新たな視点を持って積極的に取り組む姿勢が必要ではありませんか。



広告付き秋田市総合案内板

答 新規財源の開拓については、市から發送する各種封筒への広告掲載や本庁舎への広告付き案内板の設置など、導入可能なものから実施し、財源の確保に努めてきたところです。これまでの取り組みにより、一定の成果が上がっていると認識していますが、全庁横断的な取り組みにより広告媒体の価値を高める、新たな財産活用の方法を探るなど、なお工夫の余地があると感じています。今後も職員の意識向上を図りながら、これまでの取り組みをさらに充実させることに加え、新たな発想による企画提案を受け入れるための体制整備について検討していきます。

市民クラブ
相原政志

◇マニフェスト◇県市連携◇産業施策と雇用対策◇除排雪◇体罰

県市連携

問 県都秋田市においては、県市の連携は重要であると考えますが、今後の具体的な方策をどのように考えているのですか。

答 人口減少や少子高齢化の進行、厳しい経済雇用情勢など、複雑に発達した社会の中で、県と市は共通の課題を多く抱えています。こうした課題の解決に当たっては、それぞれが有するマンパワーや財源等の行政資源を共同して効果的に投入することにより、地域の活性化を図る仕組みを強化していく必要があると認識しています。このような認識のもと、園芸拠点を整備する、県都秋田市食と農業未来づくりプロジェクト（※1）など、県と連携した取り組みを進めており、公共施設の効率的な維持・運営、交流人口の拡大に向け

た観光振興など、今後さまざまな分野で県市連携による取り組みを進めていきます。

マニフェスト

問 市長がマニフェストを実現するためには、議会の賛成が必要ですが、マニフェストに対する基本的な考え方はどうですか。

答 選挙に際しての公約は、政治家が有権者と交わした大切な重い約束であり、その実現に最大限努力することは責務であると認識しています。もとより、公約に基づく個々の施策を実施するに当たっては、市民に対する説明責任を十分に果たし、合意形成を図ることが前提となるものであり、今任期においても、二元代表制である地方自治体の長として、市民を代表する議会と真摯な議論を重ねながら、さまざまな政策を進めていきたいと考えています。



※1 県都秋田市食と農業未来づくりプロジェクト…県が進める新エネルギーを活用した周年農業の実証と連携しつつ、園芸作物に特化した新規就農者の育成等を図るための振興拠点を整備し、県都の強みを生かした都市近郊型農業の確立により、秋田市農業の未来を切り開く計画。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

希望
芦田晃敏

◇市長公約◇自治体運営のあり方◇アベノミクスによる雇用制度改革◇空き家対策◇企業誘致と既存企業◇学校教育◇投票率の向上

歳入の確保

問 本市において、都市計画税を新たに賦課する考えはないのですか。

答 都市計画税は、市街化区域内の土地および家屋だけに課税されることから、土地評価額が比較的高い市街化区域内と区域外の税負担に著しい差が生じるものです。また、都市計画税を財源として整備される都市施設（※2）は、市街化区域に限らず、市内全域の市民に広く活用されることを目的とするものが多く、結果的に市民に不公平感が生じる恐れがあることから、本市においては、これまで都市計画税を導入してこなかったところであり、現時点では今後も導入の予定はありません。

既存企業

問 電気料金の値上げは、企業存続において極めて重大な問題であることから、雇用確保の意味で、東北電力に対して、本市に立地する大口需要企業に対する電気料金値上げ延期の要請はしないのですか。

答 東北電力による値上げが実施された場合、本市に立地する大口需要企業は、コスト増加による利益減少のほか、海外への移転などによる雇用環境の悪化が懸念されます。県においては、国や東北電力に要請活動を行うとともに、企業、電力会社および本市等が参加する電力安定確保対策検討会を開催し、中長期的な対応についての協議を行っており、このことを見据え、県と連携した対策について検討していきます。



東北電力御所野変電所

公明党秋田市議会
成沢淳子

◇市長の政治姿勢◇産業の育成支援と雇用の創出◇市民協働及び都市内地域分権◇災害対策◇高齢者対策◇救急救命体制の整備◇健康支援

雇用創出

問 民間企業における正規雇用者の増加に向けて、行政が取り組むべきと思いますがどうですか。

答 本市では、商工業振興条例に基づく雇用促進助成金の活用により、平成21年度以降、293人の新規の正規雇用を創出しており、さらに、非正規雇用であった方のうち、81人の正規雇用への転換を図ってきました。また、平成24年11月からは、県と市の連携による緊急就職サポート事業において、民間企業が求職者を雇用し、研修を行った上で正規雇用する場合に経費を助成しており、これまでに、本市分として115人の正規雇用となつていきます。さらに、本年度、国では、正規雇用転

健康支援

問 胃がんの早期発見のために、本市の胃がん検診の検診項目に、ピロリ菌検査を追加する考えはありませんか。

答 本市の胃がん検診は、国の指針に基づき実施していますが、ピロリ菌検査は現在のところ、指針に示されていません。また、ピロリ菌感染の有無によって、胃がんにかかりやすい状態にあるかを判断することについては、現在、専門家の間で、評価、研究が行われています。国では、胃がん検診におけるピロリ菌検査を加えることについて、今後検討するとしており、本市としては、このような動向を注視していきます。

※2 都市施設…道路、公園、下水道など安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に欠かせない公共施設で、都市としての根幹を形成するもの。

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

日本共産党秋田市議会議員団
鈴木 木 知

◇市長の政治姿勢◇地震対策◇子育て支援◇学校の施設整備

子育て支援

問 生活扶助基準の見直しにより、就学援助制度や保育料の免除に係る階層区分などに影響が生じることになりませんが、子育て世帯に負担増がないよう早急に対応策を示すべきではありませんか。

答 平成25年度分の就学援助は、生活扶助基準の改正後も、現行の対象範囲のまま実施します。平成26年度以降の取り扱い、国から基準の改正が示された後、その基本的な考え方を参考として慎重に検討していきます。保育料は、特に生活が困窮していると認めた世帯は、生活保護世帯と同様の取り扱いができませんが、その適用に当たっては、対象者の範囲や適用期間等を決定する必要があり、内容を検討しているところです。

放課後児童対策

問 児童館利用者の利用時間や目的、放課後児童クラブ利用者の要望など、保護者が放課後児童対策に何を求めているのか調査するべきではありませんか。

答 放課後児童クラブ利用者の要望等は、国の子ども・子育て支援新制度の取り組みとしてニーズ調査を実施することとしており、児童館に関する要望等も、この機会に実施を考えています。今後、この調査結果を基に、放課後児童クラブと児童館の役割や在り方を検討していきます。

学校の施設整備

問 学校のトイレについて、洋式トイレの整備目標を定め、改修を進める考えはありますか。

答 トイレの洋式化については、校舎の耐震補強に併せての実施や、学校の事情に応じて、随時、進めてきています。洋式化は、生活様式の変化に伴い必要性が高まっていることから、当面は小学校低学年用を優先することを目標に、計画的に整備していきます。

フォーラム21
小林 一 夫

◇市長の政治姿勢◇本市の現状認識と今後の対策◇新庁舎建設等◇総合評価落札方式◇泉・外旭川新駅（仮称）の設置◇県市連携文化施設整備◇現県立美術館の市としての活用策◇高齢者コインバス事業◇教育行政

高齢者コインバス事業

問 自家用車による外出は高齢になるに従い危険度が増すことから、安全なバスの利用を促進するためにも、資格対象年齢を65歳まで引き下げるべきではありませんか。

答 今年10月から実施する予定の68歳までの資格対象年齢の引き下げ後に、乗車人員など状況の推移を見ながら検討していきます。

学校給食費の公会計化

問 教師の多忙化を解消するためにも、学校給食費の公会計化を行うべきと考えますが、検討状況および実施時期を含めた今後のスケジュールはどのようなになっていますか。



小学校の学校給食

答 公会計化に当たっては、教職員の負担軽減により、学校教育の充実につながるなどのメリットがある一方、教育委員会が給食費の徴収管理業務を実施するための組織体制の構築とマンパワーの確保、電算システム導入コストなどの課題があると認識しています。公会計化の実現のためには、こうした課題の解決と、本市に最適な実施形態の検討が必要となるため、学校関係者等との協議も行いながら、公会計化の実施に向けての素案を早期に作成し、できるだけ早い実施を目標に、庁内外の関係者との調整を図りたいと考えています。

■ 請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話（866）2233

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

護憲・わんぱくの会

倉田芳浩

◇市長の政治姿勢◇教育行政◇社会福祉法人への指導監督等◇市が発注する道路工事◇情報提供施策◇市の施設における新電力（P・P・S）の導入◇家庭系ごみの有料化◇大型ショッピングセンターの進出予定◇県市連携文化施設整備構想◇公共交通◇地域の諸課題

新電力の導入

問 市有施設において今後の新電力導入の可能性はありますか。

答 新電力導入に当たっては、契約電力に占める使用電力の割合が一定基準以下に限られる場合が多いことや、供給能力面での制約もあることから、自治体が入札を行っても不落となるケースが多く見受けられます。今後、安価な電力の安定した供給が可能と判断した場合、導入に向けた検討を開始したいと考えています。

家庭系ごみの有料化

問 有料化後の市民意識の変化をどのように認識して

いるのですか。また、今後の取り組みはどうですか。

答 有料化後の家庭系ごみ一人1日当たりの累計排出量は、目標値を大幅に下回っています。また、家庭ごみに対する古紙類の排出割合が前年度に比べて増加しているほか、資源集団回収の古紙回収量も増えています。このことは、多くの市民の方々が、ごみの減量や分別の必要性を理解し、取り組んだ結果であると捉えています。今後は、特にごみ減量情報が伝わりにくい方々を対象に、よりきめ細かな周知・啓発に取り組んでいきます。

地域の諸課題

問 土崎駅の電車到着メロディを港ばやしにしてほしいという地域要望に対する考えはどうですか。

答 発車メロディは、大曲駅や横手駅などの駅舎新築時等に導入されていますが、現在、JR東日本においては、電車到着時に独自のメロディを流すことは行っていないと聞いています。このことから、到着メロディの導入は困難であると考えています。

秋水会

伊藤栄

◇市長の公約等◇再任用制度等◇農地◇市街化調整区域の開発行為

雇用の創出

問 農業の6次産業化など新たな農業ビジネスの展開による雇用の創出にどのように取り組むのですか。また、その評価方法をどのように考えていますか。

答 本市では、これまで農業ビジネスを展開するため、6次産業化を中心に、農産物の加工・販売に取り組む人材育成や地域資源を活用した商品開発、加工設備に対する助成等の事業を積極的に実施してきました。今後は、さらに農産加工品の組織的な販売促進や実践モデル事業の支援など新たな取り組みを進め、事業化を促進しながら、所得向上や雇用の創出を図ります。評価については、農業ビジネス経営体の増加数や規模拡大、農産加工品等の開発状況など、事業期間や内容を総合的に捉えながら行っていく予定です。

ごみ処理手数料

問 家庭ごみ処理手数料の決算見込額とその相当額の具体的な使途はどのようになっていますか。また、手数料とその使途に差額が生じていると思いますが、どのように処理するのですか。

答 平成24年度の家庭ごみ処理手数料収入の決算見込額は約4億5千200万円であり、その使途については、一般廃棄物処理施設整備基金に歳入の2分の1の額、約2億2千600万円を積み立てたほか、ごみ集積所設置費補助事業等に約7千100万円、低炭素社会の構築に向けた環境施策に約6千800万円、計3億6千500万円を充てており、歳入決算見込額と約8千700万円の差が生じています。この差額については、後年度において、条例の定めのとおり、家庭ごみの減量のための対策事業その他の環境対策事業に充てることとしています。手数料相当額の使途については、予算案の提出および決算認定の都度、広報あきた等で公表し、透明性を確保していきます。

議会の動き

4月24日 議会運営委員会
議会活性化第二
検討会

5月8日 5月臨時会
各派会長会議
20日 議会運営委員会
各派会長会議
27日 各派会長会議
31日 各派会長会議

6月3日 各派会長会議
4日 6月定例会
(6月25日まで)
各派会長会議
25日 編集委員会

7月10日 編集委員会
12日 厚生委員会
(閉会中)
17日 編集委員会
25日 総務委員会
(閉会中)

一般質問

市政全般にわたり、9人の議員が質問しました。

秋水会
工藤四郎

◇市長2期目の市政運営◇
平成の大合併◇社会教育の
充実◇結婚支援◇工事等の
発注◇観光◇防災対策等◇
環境対策

ドクターヘリ

問 ドクターヘリの運用について、要請の基準を設けるなど積極策が必要ではありませんか。

答 秋田県ドクターヘリは、救急搬送中に医師の観察、処置が必要な場合や搬送時間の短縮など、救命率の向上と後遺症の軽減が期待できる場合に、現場に到着した救急隊が判断し要請することを運用基準としています。本市では、この基準によるほか、通報内容から緊急性が高いと判断された場合には、救急隊の到着前にドクターヘリを要請するなど、より迅速な対応を取っているところです。今後も基地病院と合同で事例検討会を行うなど、ドクターヘリと円滑な連携を図り、高度な救急搬送を実施していきます。

防災対策

問 災害時に児童生徒の命を守る教育現場の災害対応マニュアル等の見直しや避難訓練の取り組み状況はどうですか。また、教育現場における防災意識の向上をどのように図るのですか。

答 各校では、学校における災害対応の指針に基づき、防災計画等の見直しを図るとともに、消防署など関係機関と連携し、地理的条件や災害規模等を考慮した実効性のある避難訓練を実施しています。また、生徒による被災地訪問や専門家を招いての講話会等に取り組み学校も増えています。今後は、各校の特色ある取り組みを紹介するほか、被災地の学校の校長先生を招いての防災教育研修会を実施するなど、防災意識の一層の向上に努めていきます。



ドクターヘリ

委員会の新しい委員を紹介します

総務委員会

◎今 川 雄 策 (秋水) ○伊 藤 一 榮 (秋水)
岩 谷 政 良 (秋水) 渡 辺 良 雄 (市ク)
鳥 井 修 (希望) 小野寺 誠 (希望)
成 沢 淳 子 (公明) 加賀屋 千鶴子 (共産)
伊 藤 巧 一 (フォ21) 長 澤 孝 政 (社市)

厚生委員会

◎齊 藤 勝 (希望) ○見 上 万里子 (市ク)
赤 坂 光 一 (秋水) 小木田 喜美雄 (秋水)
津 谷 聡 (秋水) 石 塚 秀 博 (公明)
佐 藤 純 子 (共産) 小 林 一 夫 (フォ21)
工 藤 新 一 (社市) 倉 田 芳 浩 (護憲)

教育産業委員会

◎菅 原 琢 哉 (秋水) ○松 田 豊 臣 (公明)
齊 藤 善 悦 (秋水) 川 口 雅 丈 (秋水)
相 原 政 志 (市ク) 相 場 金 二 (市ク)
小 松 健 (希望) 佐 藤 広 久 (共産)
佐 原 孝 夫 (フォ21)

建設委員会

◎佐 藤 哲 治 (市み) ○佐 藤 宏 悦 (秋水)
工 藤 四 郎 (秋水) 渡 辺 正 宏 (秋水)
花 田 清 美 (市ク) 芦 田 晃 敏 (希望)
堀 井 明 美 (公明) 鈴 木 知 (共産)
小 原 讓 (温修)

議会運営委員会

◎岩 谷 政 良 (秋水) ○渡 辺 良 雄 (市ク)
工 藤 四 郎 (秋水) 渡 辺 正 宏 (秋水)
津 谷 聡 (秋水) 芦 田 晃 敏 (希望)
鳥 井 修 (希望) 松 田 豊 臣 (公明)
佐 藤 広 久 (共産) 佐 原 孝 夫 (フォ21)

◎は委員長、○は副委員長

() は会派名で、「秋水」は秋水会、「市ク」は市民クラブ、「公明」は公明党秋田市議会、「共産」は日本共産党秋田市議会議員団、「フォ21」はフォーラム21、「社市」は社会・市民連合、「護憲」は護憲・わんぱくの会、「市み」は市民のみかた

政務調査費の使い道を公開しています

政務調査費(平成25年度からは「政務活動費」として交付)は、市議会議員が市政に役立つ調査研究をするために必要な経費の一部として、市から市議会の会派に交付されています。金額は、議員一人につき月額10万円で、年度ごとに精算し、剰余金がある場合は市に返還されます。

現在、平成22年度以降の政務調査費収支報告書を、領収書等も含めて公開しています。閲覧を希望する方は、議会事務局総務課までお問い合わせください。

なお、平成21年度以前の報告書については情報公開請求をしていただくことになります。



平成24年度政務調査費科目別収支状況

(金額単位: 円)

項目	会派	秋水会	市民クラブ	希望	公明党 秋田市議会	日本共産党 秋田市議会議員団	フォーラム 21	社会・市民 連合	護憲・わん ぱくの会	市民の みかた	合計
所属議員数		14人	5人	5人	4人	4人	3人	2人	1人	1人	39人
収入	交付額	16,800,000	6,000,000	6,000,000	4,800,000	4,800,000	3,600,000	2,400,000	1,200,000	1,200,000	46,800,000
	預金利子	616	222	307	21	233	101	157	24	70	1,751
	会派繰入金	0	0	0	0	0	0	0	63,355	15,395	78,750
	収入合計	16,800,616	6,000,222	6,000,307	4,800,021	4,800,233	3,600,101	2,400,157	1,263,379	1,215,465	46,880,501
支出	研究研修費	3,519,230	419,200	999,600	1,073,330	166,727	51,630	1,000	284,560	145,910	6,661,187
	調査旅費	3,147,589	1,732,985	1,938,095	1,479,485	744,960	1,103,622	307,319	39,740	182,580	10,676,375
	資料作成費	1,765,680	169,000	469,254	651,174	0	183,821	288,036	24,659	0	3,551,624
	資料購入費	1,230,324	758,891	233,547	374,055	311,106	513,465	309,734	145,433	15,700	3,892,255
	広報費	1,390,904	2,053,040	0	0	1,839,511	883,754	0	349,477	735,958	7,252,644
	広聴費	0	0	0	0	0	333,590	0	0	0	333,590
	人件費	531,065	0	0	0	852,619	43,240	63,200	54,100	72,026	1,616,250
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	16,890	0	16,890
	事務費	2,127,724	505,248	418,272	677,488	341,933	420,660	278,801	348,496	63,221	5,181,843
	支出合計	13,712,516	5,638,364	4,058,768	4,255,532	4,256,856	3,533,782	1,248,090	1,263,355	1,215,395	39,182,658
	剰余金	3,088,100	361,858	1,941,539	544,489	543,377	66,319	1,152,067	24	70	7,697,843

【お問い合わせ先】 議会事務局総務課 電話866-2232

9月定例会のお知らせ(予定)

■日程

- 9月3日 本会議
- 12日～17日 本会議「一般質問」
(土日祝日を除く)
- 18日～20日 常任委員会
- 26日 本会議

■一般質問者

川口雅丈・佐藤宏悦・菅原琢哉(秋水会)、見上万里子(市民クラブ)、齊藤勝(希望)、松田豊臣(公明党)、佐藤純子(共産党)、佐原孝夫(フォーラム21)、工藤新一(社会・市民連合)、小原譲(温修)

※日程および一般質問者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。
【お問い合わせ先】 議会事務局議事課 電話866-2233

■本会議の全日程を生中継します

本会議は、秋田ケーブルテレビ(デジタル122ch)と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。

開始時間は午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。



市長選後初の定例会では、市政の方向性について活発な議論が展開されました。編集委員会も新体制です。市議会と市民の皆さまとのかけ橋として、よりよい紙面づくりに努めてまいりますので、ご意見・ご感想をお寄せください。

(編集委員一同)

委員長 成 津 子
副委員長 見 上 万里子
委員 齊 藤 勝
委員 鈴木 巧一
委員 伊藤 一



新しい編集委員です